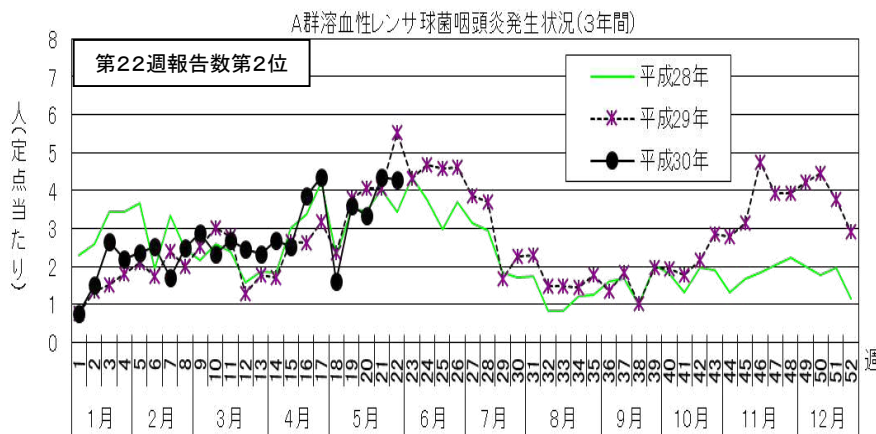
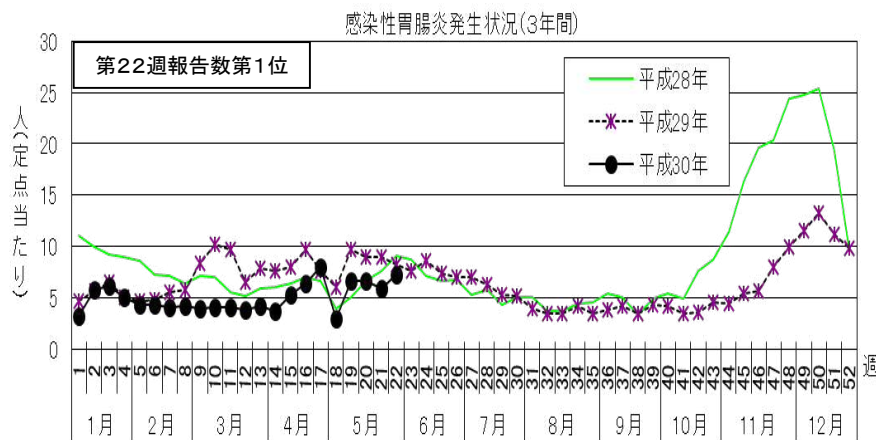


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年5月28日（月）～平成30年6月3日（日）〔平成30年第22週〕の感染症発生状況

第22週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.22人と前週（5.95人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.30人と前週（4.35人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.67人と前週（1.89人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



流行性角結膜炎の地域流行に注意しましょう！！

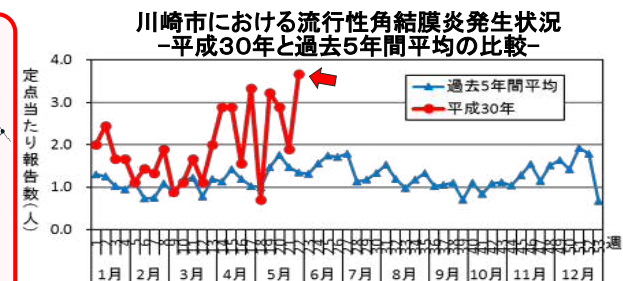
流行性角結膜炎はアデノウイルスによる急性感染症で、まぶたの腫れや流涙を伴う赤みの強い結膜炎を呈します。

川崎市では、平成30年第22週（5月28日～6月3日）の定点当たり患者報告数が3.67人と過去10年間で最多となり、特に宮前区、麻生区では流行発生警報基準値（定点当たり8.00人）以上となっています。

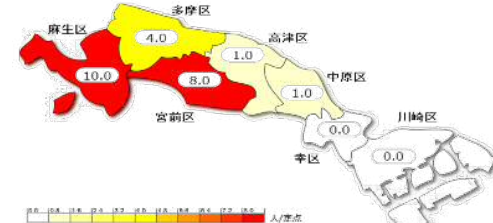
目やにが出たり、強い目の充血などがみられた場合は、こすらないように注意して、早めに眼科を受診しましょう。

流行性角結膜炎とは？

- 感染経路:** 接触感染（感染力が非常に強い）
 - 潜伏期間:** 8～14日間
 - 主な症状:** 流涙、結膜充血、眼脂など
 - 治療:** 特異的な治療方法はなく対症療法が中心
 - 予防:** 手洗いの徹底、ウイルスで汚染されたティッシュペーパーなどの適切な廃棄、タオルの共用は避けるなど
 - 合併症:** 乳幼児では細菌の混合感染により重症化し、場合によっては失明することもある。
- ※学校保健安全法では、症状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで出席停止です。



川崎市における流行性角結膜炎分布マップ(第22週)



川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)